

平成28年度淀川区区政会議 第2回コミュニティ力向上部会 議事要旨

日 時：平成29年2月1日（水）18:30～20:32

場 所：淀川区役所 5階 504会議室

出席者：

・委員6名（8名中）

小澤委員（議長）、西尾委員（副議長）、浅野委員、板谷委員、田中委員、久本委員
（欠席：角本委員、牧委員）

・区役所

中園総務課長、新井市民協働課長、久保窓口サービス課長 他

内 容：

1. 開会

2. 事務局あいさつ

3. 議題

◎ コミュニティづくり等の取り組みについて

資 料：

次 第

資料1 部会名簿

資料2 座席表

資料3 地域活動協議会の支援について

資料4 区政会議の運営について

資料5 区政会議の運営の基本となる事項に関する条例

資料6 淀川区区政会議運営要綱

1. 開会

2. 事務局あいさつ

3. 議題

◎ コミュニティづくり等の取り組みについて

(1) 地域活動協議会の支援について

○ 資料3に基づき、地域活動協議会の支援について、現状・平成28年度の主な取組実績・平成29年度の主な具体的取組について説明。（新井市民協働課長）

質疑応答・意見交換

【各地域の現状・課題について】

- ① 十三地域では、地域内の NPO 団体とも連携をはかりながら、地域運営が進められている。今後は、ワークショップ（勉強会）を開催し、地域内の課題について見詰め直していこうと考えている。（久本委員）
- ② 北中島地域では、「北中島まつり」が契機となって、地域の専門学校にも様々な地域の事業に参加してもらうようになり、一丸となりつつあると思う。今後は、地域で子どもたちを守って育てる、という大きな目標に向け、「宿題広場」の開設を予定している。課題としては、昨年 11 月から開始したよど☆エコ回収の利益をどのように地域に還元するか、検討しているところ。（田中委員）
- ③ 新東三国地域では、昨年からはじめたハロウィン行事に、今年は地域の美容専門学校生にも協力してもらい好評だったので、来年も継続予定。地活協の運営としても、問題なく進んでいると思う。（浅野委員）
- ④ 東三国地域では、地活協の位置づけについても浸透しつつあり、その点は問題ないと思われる。また、地域の専門学校との連携や、よど☆エコ回収も順調に進んでいる。事務局機能の確立が今後の課題だが、一人に負担をかけるのではなく、組織化していけないか模索している。（板谷委員）
- ⑤ 新北野地域では、役員の高齢化が課題となっており、子育て世代の方にスタッフに入ってもらするなど、若返りをはかっているところ。（西尾副議長）
- ⑥ 野中地域でも、新しい人材を登用すべく模索している。また、よど☆エコ回収だけでなく、他にも地域で事業を受託できないか検討するなどして、自律的な運営をすすめていきたいと考えている。今後は、地域にある企業寮の寮生などとの連携や、定年退職された方のキャリアを活かせるようなかたちを進めていきたい。（小澤議長）

【地域活動協議会の組織について】

- ⑦ 地域活動協議会は、地域ごとに独立していて、淀川区としての組織がない。区内の地活協が連携・情報交換できる組織が必要では。（板谷委員）
- ⑧ 意見交換会は、ひとつの組織として提言したり、決定したりする場ではない。（小澤議長）
- ⑨ 実務者がブロック会議で情報交換をする今のかたちで問題ないと思う。（西尾委員）
- ⑩ ブロック会議の仕組みは非常にいいと思う。（田中委員）

⇒ 地活協会長との意見交換会というかたちで、情報交換の場は設けられています。また、現在

は、ブロック会議での実務者間での意見交換に重きを置いて、活性化をはかっています。このご意見については、次回の地活協会長との意見交換会で共有します。

(新井市民協働課長)

【広報誌配付業務について】

⑪ 平成 29 年度広報誌配付業務委託は、具体的にどの地域で実施されるのか。(板谷委員)

⇒ 地活協が受託したのは、三津屋地域・十三地域の 2 地域です。地域課題の解決と、広報誌「よどマガ！」のポスティングを合わせて行っていただきます。今回は、モデル地域として、区役所で 3 地域を選定し、公募を行いました。(西政策企画課長)

(2) 区政会議の運営について

○ 資料 4、5 に基づいて、区政会議の運営について、現状・平成 28 年度の主な取組実績・平成 29 年度の主な具体的取組について説明。(西政策企画課長)

質疑応答・意見交換

【区政会議の運営方法について】

① 制約が多いのは理解しているが、発言の自由度がない。もう少し企画段階の話ができればいいと思う。質問への回答に力を入れているのは分かるが、委員の発言時間にもっと時間を割いてもらいたい。(板谷委員)

② 会議時間が長すぎる。基本 1 時間程度にできないか。(浅野委員)

③ 事前質問に対する答えが、会議当日には出てしまっているので、会議の中で議論することができない。(西尾委員)

④ 当初に比べればわかりやすい資料になってきていると思うが、もっと簡潔に、ポイントを絞った説明をしていただきたい。(田中委員)

⑤ 発表会的な会議では意味がないと思う。事務局からの説明が長く、意見交換の時間が少なすぎる。事前に資料を送付しているのだから、目を通してという前提で考えて、当日の説明は省略していいと思う。(久本委員)

⑥ 問題のひとつは、事務局と委員とが会議の目的を共有できていないことだと思う。また、全体会議では発言者が限られてくるので、部会でテーマを絞って、全員で意見交換するほうが意味があるのではないか。(小澤議長)

⇒ 運営方針と予算については、区政会議で意見を聴取することが定められており、ポイントを絞った概要版を作成するなど、試行錯誤しているところです。今回の部会は、初めて事前に

テーマを委員の皆様から募集して開催しました。また、以前にも開催した、区政会議の位置づけや議題について理解していただくための説明会を、今後も実施していくことを検討しています。有意義な会議となるよう、引き続き取り組んでまいります。(西政策企画課長)

4. 閉会